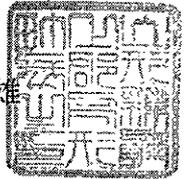


舟振地発1116号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 殿

山形県舟形町長 奥山知雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件につきまして、別紙の通り回答します。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

1. 真に必要な道路の定義について

- ① いわゆるB/Cに乗らない地域性(雪・人口・地形)など考慮していただきたい。費用対効果の計算だけでは、都市部に道路予算が集中して、地方との格差が広がる。雪国の過疎地域の山間部でも、真に必要な道路はあります。
- ② 身近な道路への配慮が必要です。従来の道路行政は、どちらかと言えば、バイパスや高速道路等の大量の交通を処理することに主眼が置かれていた様に思います。公共交通機関が撤退して、自動車に依存しなければならない地域にとっては、身近な道路の整備も非常に重要です。身近な道路の整備に対する制度の確立を要望します。

2. 真に必要な道路の財源の確保について

- ① 一般財源化される、真に必要な道路の財源を具体的に明示していただきたい。どのような形で、財源配分されるのか、また、補助・交付金事業等のどうなるのか心配です。早期に具体案を提示していただきたい。

3. 現在、整備中の高速道路・高規格道路の整備促進について

- ① 高速交通網が未整備のため、企業進出や交流人口等の増につながりません。現在、整備中の高速交通網の整備促進を要望します。

4. 冬季交通確保のため、除雪車整備拡大について

- ① 雪国で冬期間の交通確保は、町民の安全安心の一番重要な問題であります。救急業務や消防業務などの緊急車両の交通はもちろんのこと、農産物や工業製品などの流通に、冬期間の道路の交通確保は大きく影響を与えます。現在、雪寒道路の延長によって除雪車の台数が決定されているが、その他の道路(身近な道路)に対しても、除雪車が整備されるよう要望します。

○現状

民間の路線バスが廃止され、交通弱者にとってはますます厳しい環境にあります。このため、元々高かった自動車に対する依存度がさらに高くなりました。このため、家から町道、町道から県道、県道から国道といった連絡道路の整備が必要です。ところが、道路の整備水準は、国道、県道、町道そして生活道路となっております。これは、除排雪の整備水準も同じであります。自動車交通に依存している私たち地域は、生活道路や町道の整備がまだまだ必要です。また、除排雪についても同様であります。我が町単独では、企業誘致のための工業団地の造成などは、難しい状態でありまして、近郊市町村に通勤している人が多いです。また、昭和40年代から60年代までの散水型の消雪道路について多くの路線で、改修の時期がきているため多額の経費が必要になってきています。さらに、地下水を汲み上げるため、地盤沈下や地下水の水位が下がるなど影響が出ております。

○課題

生活道道路の整備と県道、及び国道までのアクセスする町道の整備が必要であります。除排雪の整備についても同様であります。さらに、高速交通網の整備は、農村部に住んでいながら、都市部に通勤できるようになるため、自治体にとっては人口流出抑制や過疎化抑制の切り札であり、喫緊の課題です。道路の消雪・融雪の地下水を汲み上げない、維持管理費も安価なシステムの構築をはからなければならぬと考えます。

1. 舟形町に定住するための道路(町民の幸福のために)

(1) 身近な道路の整備(生活者が安全安心であるために)

- ① 雪国でも冬期間安全安心に通行できる道路
- ② 雪国でも冬期間安全安心に通行できる道路除雪

(2) 高速交通網の整備(生活者が

- ① 近郊市町村に通勤できるための高速交通網
- ② 企業進出や農産物、工業製品の流通を確保するための高速交通網

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④
山形県舟形町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 及び交通安全対策 及び危機管理の強化	1. 身近な道路の整備 ①雪国でも冬期間安全安心に通行できる道路の整備 ②雪国でも冬期間安全安心に通行できる道路の除排雪の整備 2. 高速交通網の整備	人口減少の抑制、より遠くの都市への通勤が可能になる。冬期間の緊急自動車の到着時間が短縮される。	